

「はじける どつつる」

NHK テレビ番組：おんがくのおもちやばこ

おやしき編

Dai Fujikura

全員（三味線以外）：

最初からうっすらとで下の6つの音程（オクターヴ上げ下げOK）+（たまーにかっこの中の音程二つ）を、弱音で（pp）、弾きすぎない程度でバックグラウンドとして演奏してください。

子供から指示が出た場合は、「これみよがし」に、あたかも協奏曲のカデンツァみたいに、その指示の音形、を下の6つの音程（オクターヴ上げ下げOK+かっこの音程もちょっぴり）を演奏してください。その時、それぞれ楽器「ならでは」の音色をお願いします（飾り付けなどもウェルカム）。数回繰り返してもいいし、一回だけでもいいです。

それらが終わったら、弾きすぎない程度に、うっすらバックグラウンド奏法に移ってください。

三味線：ベースとして、基本テンポで「どつつる」みたいなものを、この下の6つの音程（オクターヴの上げ下げOK+かっこの音程もちょっぴり）で作って弾いてください。

音量は、最初は強めに、でも弱く弾く部分があってもいいし、同じ音列のどつつるを続ける必要もないです。ただし、下の6つの音程（オクターヴの上げ下げOK+かっこの音程もちょっぴり）から作ってください。いろんな音形でヴァラエティを作ってください。

時々「どつつる」が無くなり、違うものを弾いてもOKですが、基本テンポを感じながらそれをするならしてください。

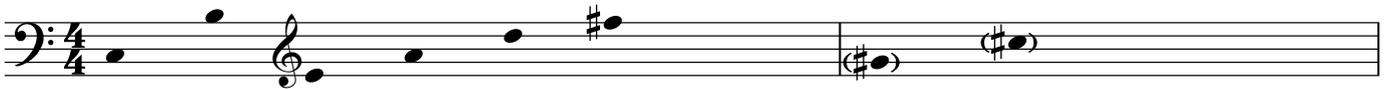
で、また「どつつる（みたいなもの）」に戻る。

テンポも、一定テンポである必要はないので、三味線的な急激なテンポの上げ下げ、なども、他の奏者が弾いているものを見計らって自由に面白くしてください。

子供から指示がでたら、どつつるをやめて、さっと、そちらの奏法を「これみよがし」に演奏し、また適当に「どつつる（みたいな）」に戻ってください。

下の6つの音程はどのオクターヴで演奏しても／歌ってもよい。

かっこの中の音程は、時々、ほんのたまーに、気が向いたら入れてみても良い。全体の音を聞き、濁らない程度に入れる場合入れる。



メロディ（全員へ）：

上の奏法をしている間に、気が向いたら、ちょこっ

と下のメロディを弾いても良い。

みんな一緒に演奏しても良い。

下のメロディは各自ソロで歌っても、演奏しても良い（歌わなくても、演奏しなくても良い）。どれを歌っても／演奏しても良いし、どの順番でも良い。メロディは必ずレガートで演奏／歌うこと。

